

平成26年度 法人運営目標・実行プラン



平成26年度運営目標

医療法人北寿会のビジョン(5年後の姿)[23年6月策定]の達成に向けて、弱みを補強し、強みを強化する。

「医療法人 北寿会のビジョン(5年後の姿)」平成23年6月策定
私たちは、地域の医療機関や他事業者と連携し、高齢者が安全・安心、いきいきと健康な生活が送れるよう、「在宅復帰、在宅支援」を確立している。その過程で、私たちは積極的に自己啓発を行い、コミュニケーション・チームワークを大切に高齢者を敬愛し、地域NO.1の良質なサービスを提供している。

その結果、私たちは同僚をはじめ、地域の人々より確固とした信頼・信用を得ている。

☆ご利用者満足度 大変満足80%の実現(平成23年3月 61.6%)
(平成26年5月 67.4%)

☆在宅復帰率 50%超を実現(平成22年5月～平成23年4月平均34.2%)
(平成25年5月～平成26年4月平均55.4%)



法人運営指針

- I. 職員のモチベーションをさらに高める。
 1. ワークライフバランスに取り組む。「誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活を目指す。」
 2. キャリア段位制度の検討を行い、長期的には人事評価制度とリンクさせていく。
※介護職員以外の職種も評価制度を検討する。
 3. 内外での研究発表会など、発表の場を作る。
 4. 管理監督者の教育、マネジメント力の強化を図る。
 5. パート職員にも自己申告や社内提案制度に参加してもらう。
 6. 長期休暇が取得できるように、各部署で業務や勤務を工夫する。
 7. 職員同士が認め、褒めあう「良いところ発見」カードの創設。

II. サービスの質を高める。

1. ご利用者満足度 大変満足80%を実現するために、各部署でサービス向上に取り組む。
※平成26年度ご利用者満足度調査の結果を踏まえて対策を検討し、部門目標・実行プランに盛り込む。
2. 生活の中での日常動作をリハビリと捉え、身体機能を高めるために、リハビリ専門職だけでなく、介護職をはじめとして多職種で生活リハビリに取り組む。
3. 外部に開かれた、相談しやすい施設とするために、1階エレベータホール前スペースを有効活用する。
4. 職員全員での清掃・清潔活動を推進する。
5. 他施設への見学及び交流により、サービス改善への気づきを促す。
6. 各事業において、利用者・ご家族がスムーズにサービスを利用できるように利用案内を造る。

III. 地域社会との関わりを深め、地域包括ケアシステムの礎を造る。

1. 地域の事業所や医療機関、その他の福祉に関わる機関とネットワーク作りを進める。
2. 体に障害があったり、老老介護や一人暮らしなどのために、介護保険の情報が行き渡っていない方のためにも、地域と連携して外部で相談会を行ったり、広報活動を積極的に行う。
3. 施設内だけではなく、地域で活動されるボランティアグループの創設支援を行う。
4. レクリエーションへの招待、地域のイベント協力、地域への講師派遣などにより地域との関わりを深める。

IV. ご家族とのコミュニケーションを深める。

1. 当法人の在宅復帰、在宅療養支援、リハビリテーションなどの方針をご理解いただき、共通認識のもと、サービスを提供する。
2. ご本人への関わり方やケアプランの実施状況・結果などをご家族に積極的に報告し、安心感を持ってもらう。

V. その他

1. 防災マニュアルの整備と適切な備蓄の確保を行う。防災に関して地域との連携を深める。
2. 水道光熱費や経費の削減を徹底する。
3. 限られた資金の中で、優先準備を適切に定め、設備や備品の修繕や買い替えを行う。